

取扱説明書 1

保存版

器具品番 HP2004C

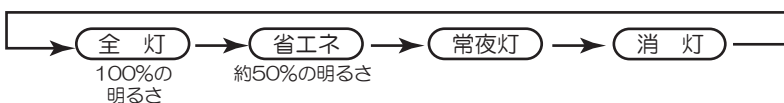
リモコン式

商品を取付ける前に必ずご確認ください

定 格

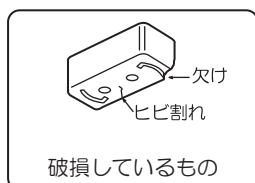
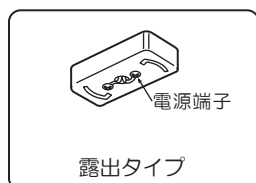
使用電圧	周波数	消費電力	待機電力	常夜灯
AC100V	50/60Hz共通	48W	約1W以下	2W以下

点灯順序



❌ 壁付調光器のある回路では使用できません。
照明器具が故障します。

●このような配線器具には取付できません



※交換には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店・電気店にご相談ください。

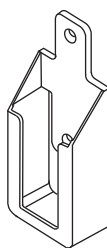
●付属部品



下面カバーキャップ



リモコン送信機
(品番: AD6)



リモコンホルダー



単3形乾電池
(2本)



木ネジ
(2本)

●各部のなまえと器具の取付け方 ※必ず電源を切ってから行ってください。

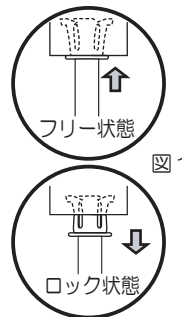
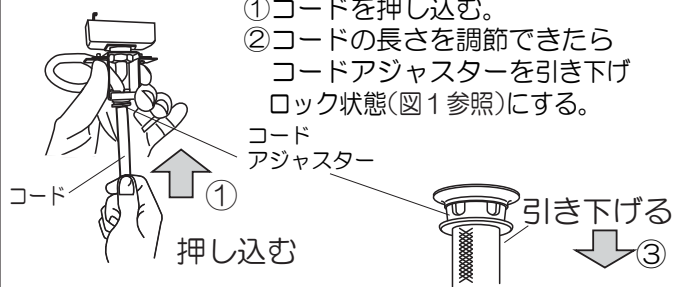
① 天井の配線器具を確認する



付いていない場合は工事店・電器店に依頼して取付けてください。

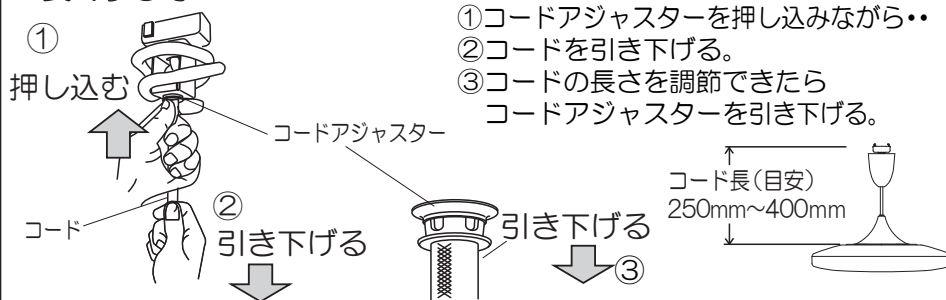
② コードの長さを調節する

短くする時



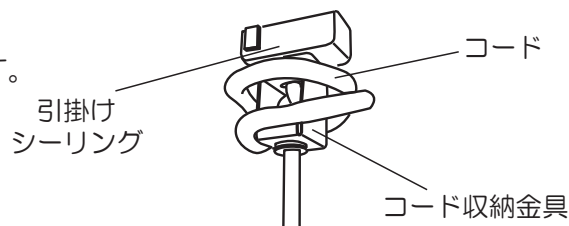
※160mm以上引き出すとシーリングカバーに収まらなくなります。

長くする時



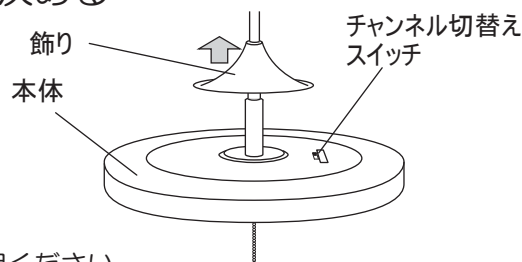
③ コードの収納

引き出したコードを
収納金具に巻き付けます。



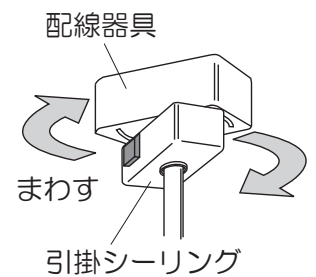
④ リモコンチャンネルを決める

飾りを上に持ち上げ
リモコン送信機側の
チャンネルとあわせて
ください。



※切替えにはツマヨウジ等をご使用ください。
※工場出荷時にはチャンネル1 (CH1) に設定しています。

⑤ 配線器具に取付ける



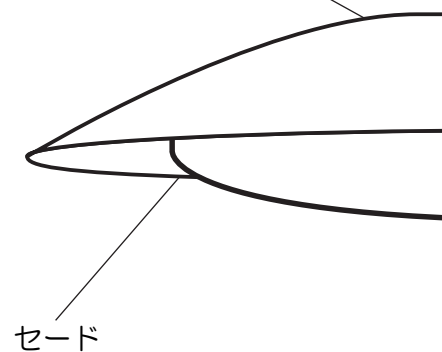
セードは機種により姿図と
形状が異なります。

③ ⑤ 引掛シーリング

⑥ シーリングカバー

② ③ コード

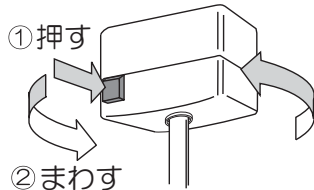
④ 本体



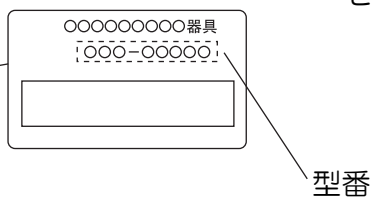
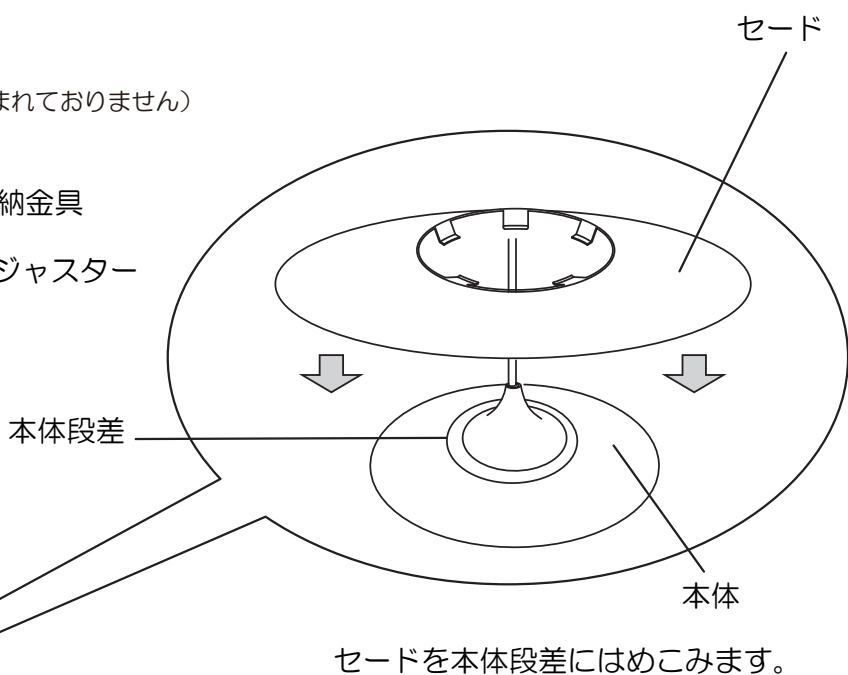
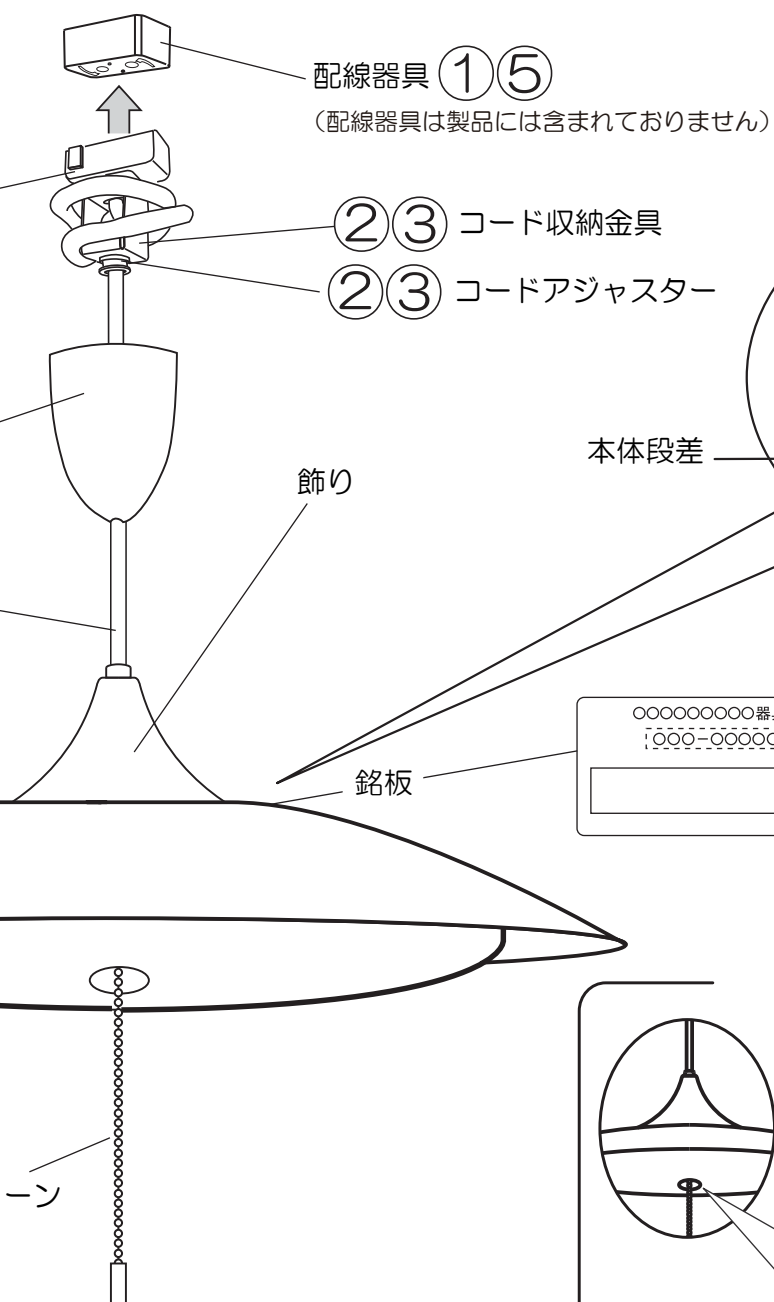
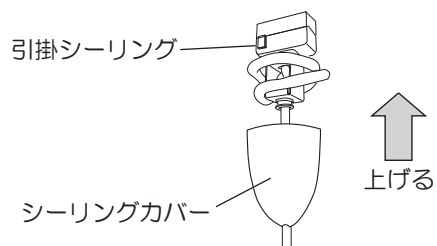
ボールチェ

⚠ セードに頭部などを当てるとケガ
注意

はずす場合
※ボタンを押しながらまわす。

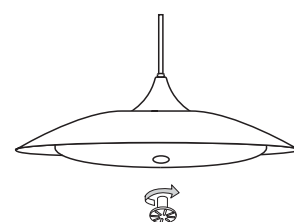
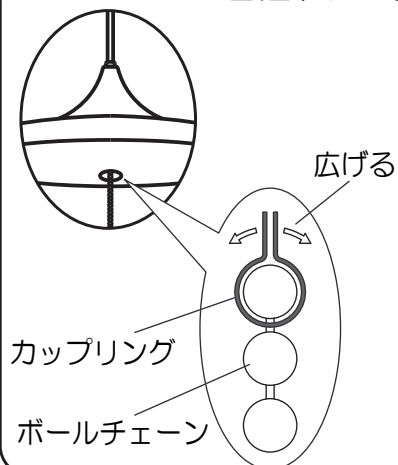


⑥ シーリングカバーを上げる



送信機のみでのご使用の場合

1. ボールチェーンの金具を（カップリング）広げ
ボールチェーンをはずします。
2. 同梱の下面カバーキャップ
を右に回して取り付けます。



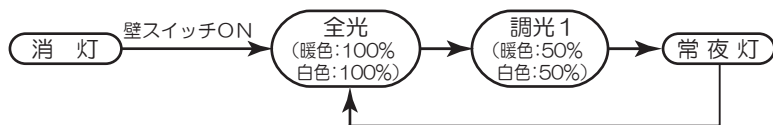
をしますのでご注意ください。

● リモコン・壁スイッチの使い方 ※壁付き調光器(ライトコントロール)では使用しないでください。

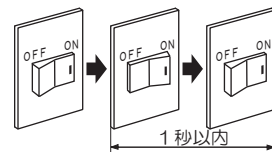
壁スイッチで操作する ※壁スイッチにライトが付いたタイプでは切替えできない場合があります。

- 壁スイッチをすばやく(1秒以内)OFF→ONさせると点灯状態が切替えられます。

壁スイッチでの点灯順序



- 壁スイッチを2秒以上OFFにしておくと次のON時には全光状態になります。



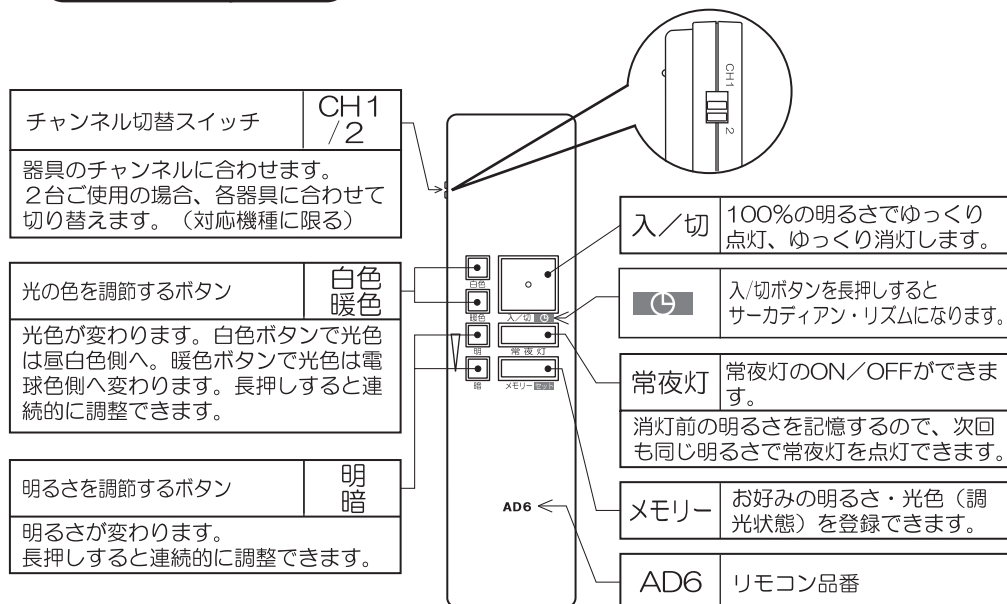
リモコン使用上のご注意

- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用の場合はインバーター照明器具から1.5m以上離して取り付けてください。
- 1つのリモコン送信機はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
2台の照明器具を1つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。
- 本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
リモコン送信機の周囲に遮へい物がある場合、器具が作動しませんので、遮へい物を取除いて再度ボタンを押してください。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコン部の回路が約1W以下の電力を消費しておりますので、節電のため長期外出時には壁スイッチを切ることをお勧めします。
- 壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。

壁スイッチON及び停電復帰後は、全光状態になります。

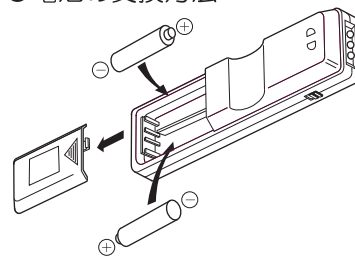
- 壁スイッチ、送信機のボタン及び電源のON/OFFを続けてくり返し操作しないでください。故障の原因になります。
- 電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。
その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。
- リモコン送信機の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
- 電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。

リモコンで操作する



リモコン品番：AD6

●電池の交換方法

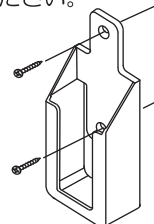


△ 注意

- 新旧、異種の電池を混用しないでください。
- 電池の⊕ ⊖ は正しく入れてください。
- 単3形乾電池をご使用ください。
- 使用後は可燃ゴミに入れないでください。

●ホルダーの取付け方

付属の木ネジで壁等に取付けてください。



注意

- 操作距離は天井、壁の色や材質によって変わります。
- リモコンを落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 室温が低いとリモコンが効きにくくなることがあります。
- 短時間でも停電が起こると復帰時に点灯状態が全灯に切替わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチを切ることをお勧めします。